



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月31日

上場会社名 株式会社 三ツ星
 コード番号 5820 URL <http://www.kk-mitsuboshi.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 競 良一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 金城 安弘

TEL 06-6261-8882

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	6,512	5.9	179	33.5	178	36.0	143	17.8
2019年3月期第3四半期	6,920	0.7	269	24.6	279	22.1	174	62.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 189百万円 (137.9%) 2019年3月期第3四半期 79百万円 (85.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	125.63	
2019年3月期第3四半期	152.87	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	10,013	5,776	57.7
2019年3月期	10,311	5,656	54.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 5,776百万円 2019年3月期 5,656百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		60.00	60.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	1.8	260	8.1	270	9.4	200	67.4	175.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	1,266,655 株	2019年3月期	1,266,655 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	124,779 株	2019年3月期	124,779 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	1,141,876 株	2019年3月期3Q	1,141,917 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続いたものの、輸出が引き続き弱含むなかで、製造業を中心に弱さが一段と増えています。

一方、世界経済は、米中通商問題を巡る動向、中国経済の先行き、英国のEU離脱、金融資本市場の変動等によるリスクに留意する必要があります。

当社グループに関連する経営環境につきましても、設備投資は機械投資に弱さがみられ、また、住宅建設においても弱含んで推移しております。

このような状況のなか、当社グループの売上高は、主原材料である銅価格が下落したことなどにより、売上高は前年同期より減少となりました。

営業利益につきましては、国内子会社の工場移転に係る費用の発生や、海外子会社の新工場に係る費用の増加の影響により、前年同期より減少しました。

経常利益につきましては、前期発生していた為替差益が今期は為替差損へと転じたことや、上記理由により、経常利益は前年同期より減少しました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、投資有価証券売却益の計上や国内子会社における固定資産売却益がありましたが、上記理由により前年同期より減少しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は6,512百万円（前年同期比5.9%減）、営業利益は179百万円（前年同期比33.5%減）、経常利益178百万円（前年同期比36.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は143百万円（前年同期比17.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

〔電線〕

当事業の主要な市場である建設・電販向けは、政府の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」によるインフラ維持更新の公共工事や都市再開発工事などが見込まれるものの、米中通商問題等の影響による輸出関連の減少や、東京オリンピック・パラリンピックへの投資の終息により、当社の主力製品であるゴム電線の需要が減少しました。また、銅価格が下落したことなどにより、売上高は4,216百万円（前年同期比8.8%減）となりました。

利益面につきましては、他社との競合による販売価格の下落に加え、海外子会社での新工場（ゴム電線製造ラインなど）の費用が増加した事により、セグメント利益は112百万円（前年同期比38.9%減）となりました。

また、2020年2月には技術開発センターを竣工し、最新の試験機を活用した新製品開発に鋭意取り組んで参ります。

〔ポリマテック〕

既存顧客拡販案件と土木関連製品の販売が増加しましたが、当事業に関連のある新設戸建住宅着工件数が前年同期比6.2%減少したことに加え、採算性を重視した販売を行った結果、全体の売上高は1,728百万円（前年同期比1.1%減）となりました。

2019年10～12月の売上は減少しましたが2020年1～3月量産の今後に繋がる新規案件も獲得出来ました。

利益面につきましては、生産性の改善や材料ロスの低減、低採算先と不採算先への適正価格での販売に取り組みましたが、上記の理由によりセグメント利益は51百万円（前年同期比1.8%減）となりました。

また2020年2月より物流拠点の見直しを図り、更なる経費削減に取り組んで参ります。

〔電熱線〕

当事業では、自動車向け製品の受注の減少が続いていることや中国景気減速および米中通商問題の影響により、産業機器向け販売が不調になるなど厳しい状況にありましたが、住宅設備機器関連での受注が増加したことや、白物家電機器向けヒーター用途および中国市場での食品炉向けヒーター用途等の新規開拓により減少分をカバーした結果、売上高は567百万円（前年同期比3.5%増）となりました。

利益面につきましては、比較的付加価値の高い産業機器向け製品が販売不調により減少したことや工場移転での費用の増加により、セグメント利益は14百万円（前年同期比54.4%減）となりました。

なお、新工場は2019年9月に完成しており、今後は生産効率の向上及び原価低減につなげて参ります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は6,320百万円となり、前連結会計年度末と比べ516百万円減少しました。これは主に現金及び預金が273百万円、受取手形及び売掛金が248百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は3,692百万円となり、前連結会計年度末に比べ218百万円増加しました。これは主に有形固定資産のその他に含まれる建物が240百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は10,013百万円となり、前連結会計年度末に比べ298百万円減少しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,485百万円となり、前連結会計年度末に比べ968百万円減少しました。これは主に短期借入金が472百万円、支払手形及び買掛金が230百万円、電子記録債務が125百万円、未払法人税等が124百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は1,750百万円となり、前連結会計年度末に比べ549百万円増加しました。これは主に長期借入金が547百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、4,236百万円となり前連結会計年度末に比べ418百万円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は5,776百万円となり、前連結会計年度末に比べ120百万円増加しました。これは主に利益剰余金が74百万円、その他有価証券評価差額金が49百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は57.7%（前連結会計年度末は54.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月15日公表の決算短信に記載しております連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,673,373	1,400,051
受取手形及び売掛金	2,981,829	2,733,709
電子記録債権	458,908	485,883
商品及び製品	998,752	935,942
仕掛品	277,754	286,463
原材料及び貯蔵品	347,668	373,754
その他	99,110	104,979
流動資産合計	6,837,397	6,320,784
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,582,709	1,547,621
その他(純額)	1,060,934	1,332,213
有形固定資産合計	2,643,643	2,879,835
無形固定資産		
	158,644	156,708
投資その他の資産		
投資有価証券	563,152	586,032
その他	110,118	71,515
貸倒引当金	△1,775	△1,775
投資その他の資産合計	671,495	655,773
固定資産合計	3,473,783	3,692,316
資産合計	10,311,180	10,013,100
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	732,997	502,616
電子記録債務	1,272,215	1,146,272
短期借入金	622,263	150,000
1年内返済予定の長期借入金	267,219	308,263
リース債務	64,850	67,792
未払金	276,900	177,550
未払法人税等	131,049	6,077
賞与引当金	36,476	32,777
その他	50,072	94,180
流動負債合計	3,454,045	2,485,530
固定負債		
長期借入金	898,646	1,446,551
退職給付に係る負債	45,714	55,837
リース債務	250,015	223,180
その他	6,455	25,041
固定負債合計	1,200,832	1,750,611
負債合計	4,654,878	4,236,142

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,136,518	1,136,518
資本剰余金	1,133,657	1,133,657
利益剰余金	3,275,508	3,350,450
自己株式	△150,590	△150,590
株主資本合計	5,395,093	5,470,035
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	185,542	235,218
為替換算調整勘定	15,614	14,671
退職給付に係る調整累計額	60,051	57,032
その他の包括利益累計額合計	261,208	306,922
純資産合計	5,656,302	5,776,957
負債純資産合計	10,311,180	10,013,100

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	6,920,143	6,512,001
売上原価	5,500,105	5,148,991
売上総利益	1,420,038	1,363,010
販売費及び一般管理費	1,150,094	1,183,427
営業利益	269,944	179,582
営業外収益		
受取利息	269	37
受取配当金	13,907	14,721
受取家賃	6,615	6,276
仕入割引	4,213	4,259
為替差益	2,519	—
その他	11,172	9,194
営業外収益合計	38,697	34,488
営業外費用		
支払利息	7,089	9,528
売上割引	14,818	14,082
為替差損	—	2,185
支払負担金	3,457	4,463
その他	3,660	4,963
営業外費用合計	29,025	35,225
経常利益	279,615	178,845
特別利益		
固定資産売却益	—	52,185
投資有価証券売却益	576	21,194
特別利益合計	576	73,379
特別損失		
固定資産除却損	1,531	34,501
減損損失	10,341	—
事務所移転費用	497	9,997
特別損失合計	12,370	44,498
税金等調整前四半期純利益	267,822	207,727
法人税、住民税及び事業税	24,629	40,520
法人税等調整額	68,631	23,752
法人税等合計	93,261	64,273
四半期純利益	174,560	143,454
親会社株主に帰属する四半期純利益	174,560	143,454

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	174,560	143,454
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△88,120	49,675
為替換算調整勘定	△5,379	△942
退職給付に係る調整額	△1,532	△3,019
その他の包括利益合計	△95,032	45,713
四半期包括利益	79,527	189,167
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	79,527	189,167

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	電線	ポリマテック	電熱線	
売上高				
外部顧客への売上高	4,624,726	1,747,718	547,698	6,920,143
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,972	—	127	7,100
計	4,631,699	1,747,718	547,826	6,927,244
セグメント利益	184,810	52,787	32,345	269,944

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	電線	ポリマテック	電熱線	
売上高				
外部顧客への売上高	4,216,119	1,728,851	567,030	6,512,001
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,060	—	84	1,145
計	4,217,179	1,728,851	567,115	6,513,147
セグメント利益	112,969	51,849	14,763	179,582

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。